



富岡市後置の知的障害者通「谷透施設長」が耕作している  
所授産施設「セルフ水土舎(金)」水田三十坪で二十七日、「里

# 手作業に100人が汗

## 富岡で田植えフェスタ

「山まつり田植えフェスタ」が行われた。同施設利用者やボランティアら子供から高齢者まで百人が昔ながらの手植えで汗を流した。

主催は後置の里山倶楽部(新井勝三代表)。自然教室「センス・オブ・ワンダー」(鈴木真哉代表、東京都練馬区)、富岡の自然を考える委員会(高橋昇会長)などの民間団体や地元企業の有志らが集まった。

参加者は泥に足をとられながらもこつをこみ、両側から張ったひもに合わせ、まっすぐ植えていった。昼食のカレーライスはボランティアが作り、作業の手を休めて舌鼓

昔ながらの手作業で田植えに励むボランティアら。富岡市後置

を行った。

セルフ水土舎は昨年からは全有機栽培による米作りに取り組んでおり、田植えと稲刈りは手で行っている。今年の稲刈りはセンス・オブ・ワンダーの子供たちが泊まり込みで参加する予定だ。